

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成27年度第3回情報教育研究委員会議事記録

I. 日 時：平成27年10月19日(月) 18:00~20:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 参加者：屋代担当理事、斎藤委員長、岡田委員、笈委員、大原アドバイザー  
事務局：井端事務局長、野本(記)

IV. 検討事項

フォーラム実施に向けて、学生の参加や当日の進め方などについて以下のような検討を行った。

- ・ 参加をお願いする学生は、技術的な内容理解は深くなくとも ICT に興味のある学生をお願いすることにした。依頼は3大学として、東海大学から情報系4年生女性、早稲田大学から非情報系4年生男性、江戸川大学から2年生1名で検討することにした。事前に情報提供の視点を伝えることにした。
- ・ 司会は委員会から大原アドバイザーが担当し、斎藤委員長が全体を総括することにした。
- ・ 情報提供のタイトルと有識者については、下記の4名にすることが確認された。
  - ① ビッグデータのデータ・情報の活用力を身につけるための学びを考える  
情報学研究所アーキテクチャ科学研究系教授 佐藤 一郎 先生
  - ② IoTの世界潮流とリスク(個人データ安全性の担保等)  
情報処理推進機構ソフトウェア高信頼化センター調査役 田丸喜一郎 氏
  - ③ ビッグデータによる価値創造の事例紹介  
NEC ビッグデータ戦略本部長 中村 慎二 氏
  - ④ ビッグデータ活用によるイノベーションの可能性と課題  
東京大学大学院情報学環教授 須藤 修 先生
- ・ 学生視点では人材育成には興味がないことからビッグデータの理想と現実を含めて全般的な説明が分かりやすいのではないか。
- ・ 情報提供の順番として最初は明るい話題で流れをつかませることではどうか。ビッグデータがイノベーションにつながることで締める方向性ではどうか。そこで、上記の①~④の順番を設定した。
- ・ IoT部分では世界的な動向を把握させ、ビッグデータの事例では日本の取り組みを紹介して、具体的な理解を深められるのではないか。
- ・ 大学で教えていないことで時代をリードしている現実を理解してもらえないか。
- ・ 情報提供はそれぞれ15分とし、意見交流を含めて全体を85分程度に収めたい。
- ・ 情報提供の後、意見交流に向けて休憩をはさみ、質問事項を予め整理することで意見交流のスムーズな進行を図ることにした。

V. 今後のスケジュール

- ・ 平成28年1月26日の午後に私学会館の会議室で第3回「人口70億人時代のネット社会を創造するためのフォーラム」の撮影を行うことにした。